の中でも感謝する信仰

:ダニエル書６章7-24節

2021年8月22日　福岡中央教会 主日礼拝　説教:辛治善牧師

ハレルヤ!主の御名で皆さんを愛します。最近コロナがひどくなっています。皆さんみんな健康でありますように主の御名で祝福いたします。昔イギリスでは、「国家の許可を得ずに説教する者は必ず罰を受ける」と信仰を制限されていました。ところが、一人の若者がこの法律を破って12年間刑務所で過ごさなければなりませんでした。その長い年月の間、彼の妻は乞食のように物乞いをして死ぬようになり、彼の三人の子供も急に孤児になって生計を自ら立てなければならなくなりました。こんな悲惨な状況の中でも、その若者は監獄でこんな祈りを捧げました。「神様、私は大変苦しいんです。しかし、私が主のためにできることがあるでしょうか。もし神様のためにできることがあれば、私は絶望しません。」このとき、主が彼の心に感動を与えました。「君は文を書きなさい。私は君に文章を書くことができるタラントンを与えた」このような状況の中で書かれた本が'天路歴程'で、このような苦難を乗り越えた人はジョン・バーンヨン(John　Bunyan)という信仰の人でした。

皆さん！苦難は誰にでも近づいてきます。しかし苦難の中でも涙で祈りながら神様に感謝の祭祀を捧げる時、主は私たちの人生の道を新たに開いて下さいます。今日は、本文のダニエルを考えながら、<苦難の中でも感謝する信仰>という題目で、共に主の恵みを分かち合おうと思います。

、信仰の人は生活環境が悪化しても怖がったり神様を恨んだりしません。

ダニエルは、神様からいただいた特別な知恵によって、総理大臣の座に就いた信仰の人でした。しかし、彼の周りには彼を嫉む人が多くなり、結局、彼を憎んでいた彼らはダニエルを無くすために特別法まで作ろうとしました。彼らは30日間、ダレイオス王以外に他の神に敬拝する者がいれば、その者を獅子の洞窟に放り込む特別法を作って、王様がそれに印を押すようにしました。すべてのことに罪のなかったダニエルでしたが、悪人たちの行動

命が脅かされるようになりました。しかし、彼は恐れず、一度も神様を恨みませんでした。自分を除く周辺の勢力が、わざと自分を殺そうとする時、ダニエルはどれほど大変だったでしょう？しかし、ダニエルは、自分を殺そうとする者たちの悪だくみを知りながら、神様を恨むこともなく、自分の人生について不平も言いませんでした。

皆さん！この頃、私たちの周辺ではコロナ患者が急増しています。このように生活環境が悪化した時、これを受け入れる私たちの姿勢は本当に重要です。もちろん気をつけて、面会をひかえることはよいです。ですが、最悪の条件の中でも、恐れず神様を恨まなかったダニエルを、覚えておく必要があります。愛する皆さん！　私たちが生きていく今は本当に大変な時期です。しかし全世界の皆が私たちと同じ大変な時期を過ごしています。皆さん！苦難が近づいても主を見つめながら元気よく、頑張れますように主の御名で祝福いたします。

、信仰の人は苦しい人生の条件の中でも神様に向けた祈りと感謝を忘れません。

皆さん! 信仰の人でも普通は良い事が生じた時、感謝する事がある時に神様に感謝を捧げる場合が多いです。もちろん、普段つねに感謝している方々もいらっしゃいます。ですが、本文に出てくるダニエルの行動は、私たちの胸に大きな衝撃を投げかけてくれます。つまり、自分を捕まえて殺そうと禁令を宣布し、周りのすべての人が監視者になったのにもかかわらず、ダニエルの行動には変わりがなかったのです。彼は危機状況の中でも普段のように窓を開けておいて、1日に3回ずつ神様に祈りを捧げ、神様に感謝をささげたのです。

人は危機を経験する時、その人の本心が出てきます。つまり、命が脅かされる時にその人がする行動が本当にその人の心だということです。私たちは今日本が一番大変だと思うでしょう？しかし、先日、南アフリカ共和国で宣教されてる宣教師も、命の危険を感じて逃げているという知らせがあり、アフガニスタンでは突然、政府が変わる大変な出来事がありました。一言で言って、今は世界のどこも安全なところが見えないほど大変な時期だと考えられます。このような時、私たちに本当に必要なのは、主への祈りと感謝で

？ 愛する皆さん！ 生きることが大変でも、物質的に、精神的に大変なことが多くても、神様の御前に祈りと感謝をささげて進みましょう。神様への祈りが私と皆さんを救います。

、苦難の中でも最後まで忍耐すれば、神様が勝利の道に導いてくださいます。

皆さん！人が感じる恐怖は、いくつかの状況があると思いますが、死を前にして刑場に進む時が、一番怖いと思います。ところで、本文のダニエルは最も残酷な死刑場を体験しました。彼は生きているまま獅子の窟に放り出されたからです。獅子の窟には獅子が1匹だけでなく、何匹もいました。その中に投げられた時、ダニエルの気持ちはどうだったと思いますか？　心臓が弱い人なら、獅子の窟から放たれる時に気絶するでしょう。しかしダニエルは、彼に嫉妬していた彼らの行動にもかかわらず生き残りました。神様が守ってくださったのです。愛する皆さん！この地でいくら大変なことがあっても神様が守って下されば生き返ります。聖書に出てくる数多くの信仰の人々も数多くの苦難と痛みを経験しました。しかし、彼らは最後まで主をつかんで、結局は勝利しました。

皆さん！人生の中で、とても大きな試練が近づいてきた時には、どう対処すればいいのか思い出せません。しかし、その度に皆さんは生きておられる神様を求めてください。信仰の人は生活環境が悪化しても怖がったり落胆したりしません。皆さん、頑張ってください。ダニエルは、一番つらい人生の中でも、神様にお祈りし、感謝をささげたことを覚えておいてください。神様への祈りと感謝が、私たちの人生の方向を変えてくれます。皆さん！最後まで絶望せず、主をつかまっていれば、主が皆さんに命の道を許されます。この信仰を持って今日も勝利される皆さんになることを主の御名で祝福いたします。

終わり。